

サザピリン【販売中止】

- 中** ウィローバーク
- サザピリンはサリチル酸塩の一種で、アスピリンに似た作用があります。ウィローバークもまたアスピリンに似たサリチル酸塩を含みます。サザピリンとウィローバークを併用すると、サザピリンの作用および副作用が増強するおそれがあります。
-
- 低** ビタミンC
- ビタミンCはサザピリンの体内からの排泄を抑制する可能性があります。ビタミンCとサザピリンを併用すると、体内のサザピリン量が過剰になって、サザピリンの作用および副作用が増強するおそれがあります。
-
- 中** メドウスイート
- サザピリンはサリチル酸塩であり、アスピリンに似た作用があります。メドウスイートとサザピリンをともに摂取すると、体内のサリチル酸塩が過剰になって、サリチル酸塩の効果が増強され、副作用も強く現れるおそれがあります。
-
- 低** リボース
- 大量のサザピリンは血糖値を下げる可能性があるため、サザピリンの服用中にリボースを摂取すると、血糖値が下がりすぎるおそれがあります。
-
- 低** ローズヒップ
- ローズヒップにはビタミンCが含まれます。ビタミンCはサザピリンの体内からの排泄を抑制する可能性があります。ローズヒップとサザピリンを併用すると、サザピリンの作用および副作用が増強するおそれがあります。
-
- 中** ローズマリー
- サザピリンはサリチル酸塩の一種で、アスピリンに似た作用があります。ローズマリーもまたアスピリンに似たサリチル酸塩を含みます。サザピリンとローズマリーを併用すると、体内のサリチル酸塩が過剰になって、サリチル酸塩の作用および副作用が増強されるおそれがあります。

サラゾスルファピリジン

- 中** ウコン
- ウコンはサラゾスルファピリジンの体内への吸収量を増加させる可能性があります。ウコンとサラゾスルファピリジン併用すると、サラゾスルファピリジンの作用および副作用が増強するおそれがあります。

三環系抗うつ薬

- 低** 紅茶
- 紅茶にはタンニンと呼ばれる化学物質が含まれます。タンニンは三環系抗うつ薬など、多くの医薬品と結合し、医薬品の体内への吸収量を減少させる可能性があります。この相互作用を避けるために、三環系抗うつ薬の服用前1時間

から服用後2時間までは紅茶を摂取しないでください。このような抗うつ薬には、アミトリプチリン塩酸塩、イミプラミン塩酸塩などがあります。

Ⓜ コーヒー

コーヒーにはタンニンが含まれていますが、タンニンは医薬品の多くと結合して、その吸収量を減らすことがあります。この相互作用を避けるには、コーヒーを飲む場合、抗うつ薬を服用する前なら1時間以上、服用後なら2時間以上、間隔をあけてください。こうした抗うつ薬には、アミトリプチリン塩酸塩、イミプラミン塩酸塩があります。

Ⓜ セント・ジョンズ・ワート

抗うつ薬は体内で代謝されてから排泄されます。セント・ジョンズ・ワートは特定の抗うつ薬の排泄を促進する可能性があります。セント・ジョンズ・ワートが特定の抗うつ薬の排泄を促進することで、抗うつ薬の効果が弱まるおそれがあります。このような抗うつ薬には、アミトリプチリン塩酸塩、クロミプラミン塩酸塩、ノルトリプチリン塩酸塩などがあります。

Ⓜ ヨウシュハシリドコロ

ヨウシュハシリドコロには生理活性物質が含まれていますが、この中には抗うつ薬と似た作用を持つものがあります。このため、ヨウシュハシリドコロを摂取すると、抗うつ薬の副作用が強く現れるおそれがあります。このような抗うつ薬には、アミトリプチリン塩酸塩、イミプラミン塩酸塩などがあります。

Ⓜ ヨヒンベ

ヨヒンベは心臓に影響を及ぼす可能性があります。三環系抗うつ薬もまた心臓に影響を及ぼす可能性があります。ヨヒンベと三環系抗うつ薬を併用すると、心臓の異常を引き起こすおそれがあります。三環系抗うつ薬を服用中にヨヒンベを摂取しないでください。このような抗うつ薬には、アミトリプチリン塩酸塩、イミプラミン塩酸塩などがあります。

Ⓜ RAUVOLFIA VOMITORIA

特定の抗うつ薬はRAUVOLFIA VOMITORIAの作用を弱める可能性があります。このような抗うつ薬には、アミトリプチリン塩酸塩、イミプラミン塩酸塩などがあります。

Ⓜ リボフラビン

特定の抗うつ薬は体内のリボフラビン量を減少させるおそれがあります。この相互作用は著しく高用量の抗うつ薬を使用した場合に現れるため、重大な問題ではありません。このような抗うつ薬には、アミトリプチリン塩酸塩、イミプラミン塩酸塩などがあります。